



Matsunaga Head Line News

[マツナガ・ヘッドライン・ニュース]

〒339-0043 埼玉県さいたま市岩槻区城南五丁目6番6号 TEL:0120-980-633 FAX:048-798-0075

MITSUNAGA 感動創造建設会社

2025年5月発行 発行元:松永ホールディングス 発行人:松永大祐
www.matsunaga.gr.jp



2025 May Vol.57

街と調和する 建築のかたち

CONTENTS

INTERVIEW インタビュー

P2 株式会社ロイヤルコーポレーション
小江戸川越の景観を守る
街に調和するマンションのあり方

PROPERTY 竣工物件

P4 三郷市立前川中学校校舎改修工事(建築) /
日本橋蛸殻町PJ
P5 ロイヤルブルーム小江戸川越 /
念仏橋仮橋整備工事(その3)

TOPICS トピックス

P6 入社式 / ラジオCM / 社長少年 / 健康経営



INTERVIEW インタビュー

小江戸川越の景観を守る 街に調和するマンションのあり方

株式会社ロイヤルコーポレーション



左から、施工管理者・松山昂央(株式会社松永建設 建築部)、照明デザイナー・田中謙太郎様(株式会社アンバー代表)、オーナー・田島永一様(株式会社ロイヤルコーポレーション代表)、松永大祐(株式会社松永建設代表)

照明デザインの導入による 新たなABオービット型賃貸マンション

松永 2025年3月に埼玉県川越市に竣工したABオービットの賃貸マンション「ロイヤルブルーム小江戸川越」について、オーナーの田島永一社長と、照明デザイナーの田中謙太郎様、弊社・施工管理者の松山と竣工に至るまでの経緯や目指したものについてお話ししたいと思います。以前より弊社では、ロイヤルコーポレーション様の賃貸マンションを手掛けていますが、今回の案件で、田島社長は「川越らしさ」と「景観への配慮」をとても気にかけていましたね。

田島 川越は「小江戸」といわれ、江戸の情緒を残す街並みで知られます。当案件の建設地は「都市景観形成地域」

に指定されていないものの、玄関口の「本川越駅」から小江戸川越の観光地区に至る導線上にあります。無粋なマンションを建てて景観を損ね、地域住民の心情に反したくはありません。むしろ、みんながワクワクするような建物で「街づくり」に貢献したい思いもあります。そこで松永社長に、いろいろと無理をお願いしました。

松永 当社のABオービットは、住む人の快適性を実現しながら、経営効率を重視した低コストの設計や工法、建材の工夫を凝らすプランニングが特徴ですが、コスト低減を突き詰めると無機質になりかねないことも事実です。

田島 いえ、そこはオーナーの考え次第ですよ。基本コストを下げたからこそ、真に必要な要素や付加価値を検討する余地が生まれます。当案件では、すでに建設が始まった段階からホテルオークラ東京などを手掛けた照明デザイナーの田中謙太郎先生に参画を依頼し、光の演出で「川越にこのマンションがある意味」を叶えていただきました。相応のご負担と工程を追加するかたちになりましたが、仕上がりには大変満足しています。

松永 田中先生には照明効果による空間デザインとして、ファサードの格子の演出やエントランスの壁面など建材に関わる部分も含めてご提案をいただきましたが、途中からの参画によるご苦労などはありましたか？

田中 今回の案件は、「とても恵まれていた」と感じています。というのも、照明デザインは建物がある程度できてか

ら、内装段階で加わるケースは多いのです。そのとき、現場の施工会社や電気工事の方との協力が難しい場合もあります。しかし、田島社長と松永建設様のコミュニケーションがスムーズで、施工管理者の松山さんと職人さんたちの関係も良好であり、みなさんで私の要望を真摯に叶えようとしてくださったことがありがたかったです。

松山 こちらこそ大変勉強になりました。デザインを崩さないための工夫や、従来は想定しない照明の配線の収め方、イレギュラーな部材の調達など、事細かにアドバイスをいただき、私自身もレベルアップできた、かけがえのない案件になりました。

「縦格子」をテーマとした 川越の街に調和するファサードの魅力

田中 「ロイヤルブルーム小江戸川越」は大通りに面した立地で、地上10階建です。付近には同等の高さの建物が点在しますが、観光地区のほうでは景観を守るために建物を低層に制限しています。そこで、ファサードに川越の古民家を想起させる縦格子を取り付け、照明で演出しました。実際の高さは同じでも、印象として建物の重心を下げることで、高層住宅の圧迫感を抑え、歴史的な街との調和を図ることができます。格子を形づくるルーバーでは、松永建設様に非常に繊細な仕事をさせていただきました。格子を隔てる柱には艶のある黒い面材を使う一方、ルーバーの背面



には黒いマットな面材を使い分けています。ルーバーは木材ではなく金属なのですが、格子の印象が引き立っていますよね。また、ルーバーの間隔もミリ単位で調節していただき、理想的に美しい配置に仕上がりました。

松永 エントランスの扉は、田島社長のこだわりの逸品ですね。

田島 建物の道路を挟んだ向かいに、蔵造りの伝統民芸屋さんがいるのですが、その歴史的な重厚感と調和したい思いがあり、田中先生にアイデアを出してもらったのです。

田中 こうした木製扉は、古い蔵戸を持っていくことが多いのですが、今回はすでにできあがった玄関の寸法に合わせるため、専門業者に制作を依頼しました。金物もすべて職人の手仕事です。本当に重厚ですから、施工する松山さんにはご苦労があったかと思います。

松山 厚みが5cm、観音開きで片面70kgある扉の施工は初めてのことで、1年、2年ではなく長期にわたって壊れないよう、重量を解消する施工や丁番の検討を担当者と何度も重ねました。なかなか大変でしたが……その重厚さが田中先生のダウンライトの繊細な当て方で、さらに雰囲気醸成していることに感動しています。また、先のお話にもありましたが、アイデンティティの強い街にあって、住民感情の繊細さを施工管理者としても感じていたのです。足場や仮囲いを外して、このエントランスの扉が見えたときに、向かいの民芸屋さんから「すごくいい扉だ。うちの扉にも似ているね」と言っていたのが心から嬉しかったですね。

田島 そうそう、ニコニコしていましたよね。その民芸屋さんは、当初はマンション建設にあまり賛成していなかったのですが、こちらの思いが通じて私も安心しました。

美は細部に宿る！ クオリティを引き立てるこだわりの演出

田中 一般的なバルコニーはダウンライトを配置するだけです。天井に施された木質の面材を活かした演出を提案しました。手すりにLEDを仕込んでいただき、角の天井を優しく照らすライティングを行っています。

松山 昼光色ではなく、電球色を採用されたのはなぜなの



ですか？

田中 人間の体内時計と光は密接な関係があり、日差しのような昼光色は日中の活動性を高める光です。一方、電球色は焚き火のように温かい夜の光で、就寝に向かって心をリラックスさせる光です。住む人のバイオリズムと、外から見る地域の方々の印象を考慮したデザインをしました。実は、マンションにおいて公共スペース以外の、バルコニーという居住スペースに空間演出をするのは珍しいケースで、他のデベロッパーさんに事例紹介すると驚かれます。自治体の景観賞と竣工時期が合わなかったのが残念ですね。受賞が期待できたと思いますよ。

田島 今後の物件でもバルコニーは照らします（笑）。街にワクワク感をもたらす演出だと感じています。

松山 エントランスの演出でも、アップライトを活用されていましたね。

田中 床からの照明で白い天井を照らし、反射効果を演出しています。天井の明るさを引き立てるため、壁を黒い面材に変更してもらいました。

松山 私が感動したのは、設備点検用ドアのあしらいです。一般的にスチールの扉が備え付けられますが、ドアに壁と同じ面材を貼り、「隠し扉」として壁と同化させたのです。私たちが「あって当然」と考えるものを隠すことで、ノイズのない質の高い空間ができました。マンションの比較検

討はエントランスで勝負が決まるため、いい演出の引き出しをいただいて感謝しています。

松永 「細部のこだわり」でいえば、通りに面した壁面の仕上げに松山が頑張りましたね。一般的に、マンションの正面はバルコニーや通路ですが、当案件はメインの外観が壁面です。「見られる壁面」というのは、われわれ建築会社にはプレッシャーがあったでしょう。

松山 これだけ広大なコンクリート打ちっばなし面を施工し、その質が建物の印象に直結するわけですからドキドキしました（笑）。コンクリートを流す際に、型枠を固定する凹みが打ちっばなしのアクセントになるのですが、それがキチッと真っ直ぐ等間隔で揃うよう、割り付けに細心の注意を払い、毎日の朝礼でも「ここがメインですよ！」と伝えていました。

田島 言葉で語るほど簡単ではなかったと思います。何度も協議して創意工夫し、実現していただいた対応力と素晴らしい施工に改めて感謝します。

松永 私たちが一棟一棟造ったものが、街になっていくのですよね。田島社長のように街づくりの意識が高い方と一緒にすることで、街並みが豊かになっていくことを改めて実感しました。この経験を活かし、今後も「街づくり」に貢献してまいります。



「ロイヤルブルーム小江戸川越」外観。別カットは表紙、次ページをご覧ください。

PROPERTY 竣工物件

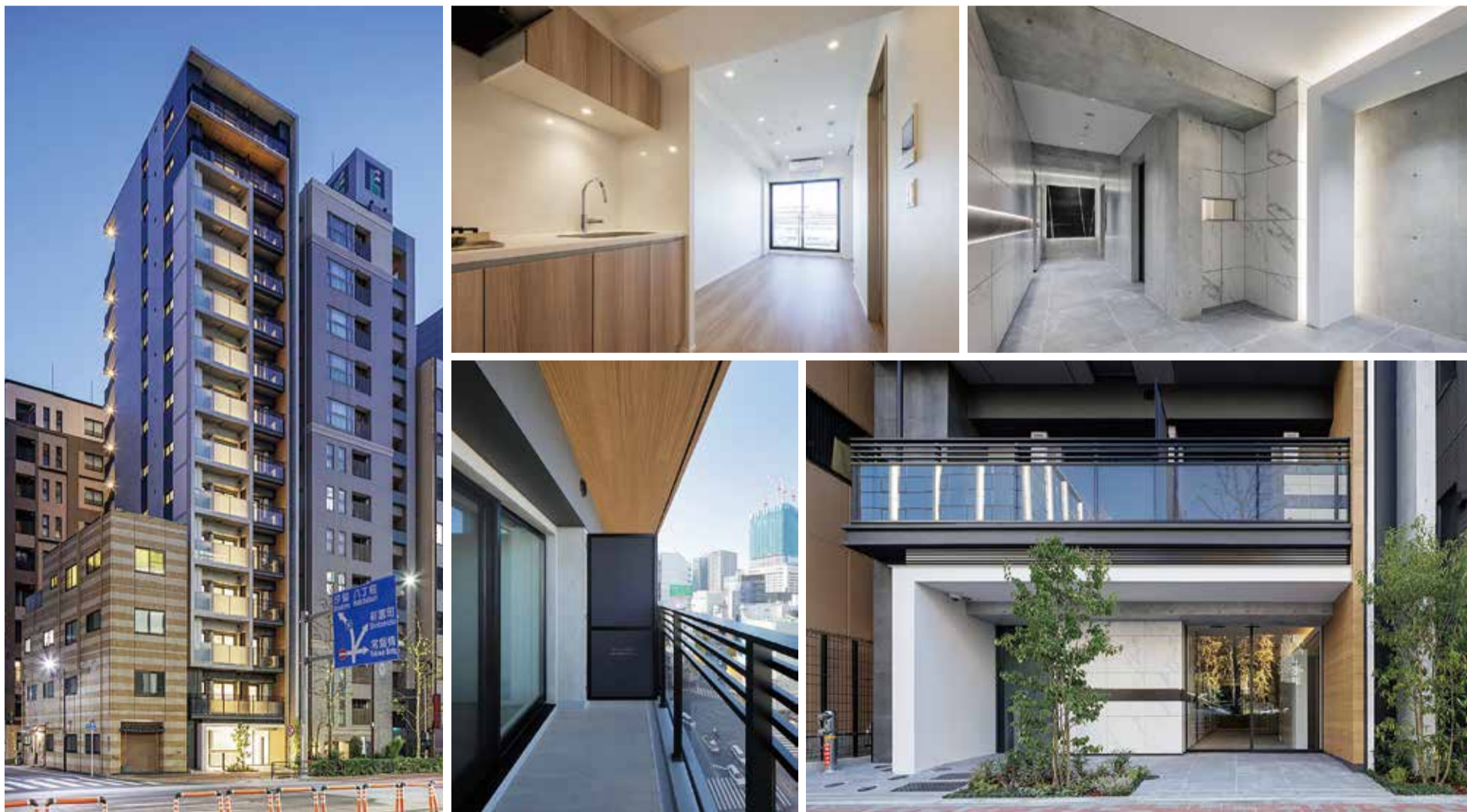


▶ 三郷市立前川中学校校舎改修工事（建築）◀

〈発注者：三郷市 様〉

DATA

□ 竣工年月：2025年2月 □ 規模/構造：5階建/RC造
 □ 延床面積：6467㎡ □ 敷地面積：24214.37㎡ □ 所在地：埼玉県三郷市



▶ 日本橋蛸殻町PJ ◀

DATA

□ 竣工年月：2024年12月 □ 規模/構造：14階建/鉄筋コンクリート造
 □ 延床面積：1,165.11㎡ □ 敷地面積：135.54㎡ □ 所在地：東京都中央区



▶ ロイヤルブルーム小江戸川越 ◀

〈発注者：株式会社ロイヤルコーポレーション 様〉

DATA

□ 竣工年月：2025年1月 □ 規模/構造：10階建/RC造
 □ 延床面積：1410.69㎡ □ 敷地面積：307.37㎡ □ 所在地：埼玉県川越市



▶ 念仏橋仮橋整備工事（その3） ◀

〈発注者：さいたま市 様〉

DATA

□ 竣工年月：2025年1月 □ 工事内容：仮橋上部 覆工板工（上流側）、落橋防止工、仮設高欄工 整備工事
 □ 所在地：埼玉県さいたま市緑区

TOPICS トピックス

令和7年度 入社式を執り行いました

4月1日、松永建設本社にて入社式が開催されました。春の訪れを感じさせる温かな陽気の中、松永建設グループに新たに加わった16名の新入社員を迎えることができました。夢や希望、やる気で満ちあふれた新入社員とともに、全社一丸となって新たな気持ちで邁進してまいります。



「まつけんチャンネル」で配信中！



ラジオCMをリニューアル！

FM NACK5 (79.5MHz) で、月曜日から金曜日の朝8時30分より放送中のラジオCMが、4月1日より新たにリニューアルしました。引き続き「まつけんRADIO」として、松永建設の魅力について松永建設グループの社員が「生の声」でお届けしています。ぜひ、お聞きください！



「まつけんチャンネル」で配信中！



月刊社長少年 待望のシーズン2がスタート！

さまざまな「景色をつくってきた」松永建設が、「あなたの心の景色」を豊かにするインタビュー番組「月刊社長少年」、待望のシーズン2がスタート！
シーズン2に登場していただくのは、先人たちの意志を受け継ぎ活躍しながら、少年のような夢を追いかけ続けている魅力的な経営者やその夢を叶えた人たち。さらに、世界へ羽ばたく若き起業家やクリエイターたちにもスポットを当てていきます。

episode-1 「衆議院議員 村井英樹さんの夢を叶える方程式」



「まつけんチャンネル」で配信中！

記念すべきエピソード1のゲストは、未来の日本を担う若き国会議員・埼玉一区選出の村井英樹さん。国会議員への夢のきっかけ、31歳で決意した国政への道、岸田前首相を支え続けた若きリーダーが、本音で語る政治家としての使命とは？ 夢を叶えた人が描く未来地図、必見です！

「健康経営優良法人2025 (ブライツ500)」に認定されました

このたび株式会社松永建設は、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2025 (ブライツ500)」に認定されました。「ブライツ500」とは、中小規模法人部門において、健康経営優良法人の中でも特に優れた上位500法人に対して付与されるものです。

今後も社員が心身ともに健康でいきいきと活躍できる職場環境づくりに取り組んでまいります。



RACE REPORT SUPER TAIKYU 2025

「ENEOSスーパー耐久シリーズ 2025」にTKRIが本年も出場！

松永建設グループが応援する、片岡龍也選手率いるレーシングチームTKRI (Tatsuya Kataoka Racing Invitation) が、本年も「ENEOSスーパー耐久シリーズ 2025」に出場。

開幕戦では見事2位を獲得し、好スタートを切りました。チーム一丸となり、今シーズンは悲願のシリーズチャンピオン獲得を目指します。

是非、サーキット会場にお越しください！

